

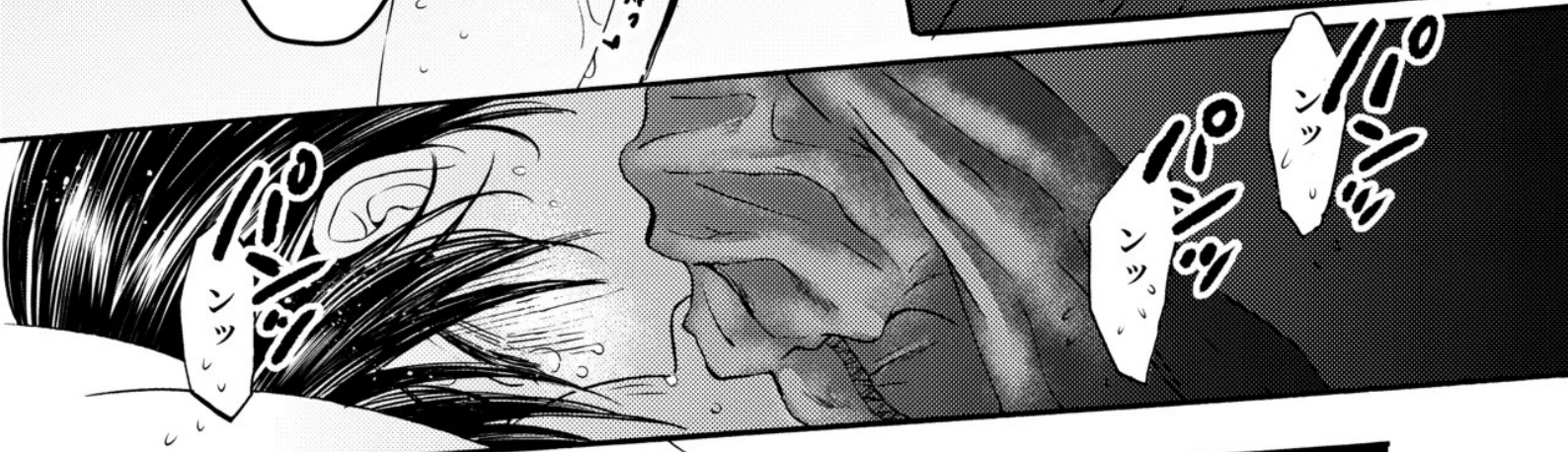


さまよう手

HURRY-NETSU SERIES

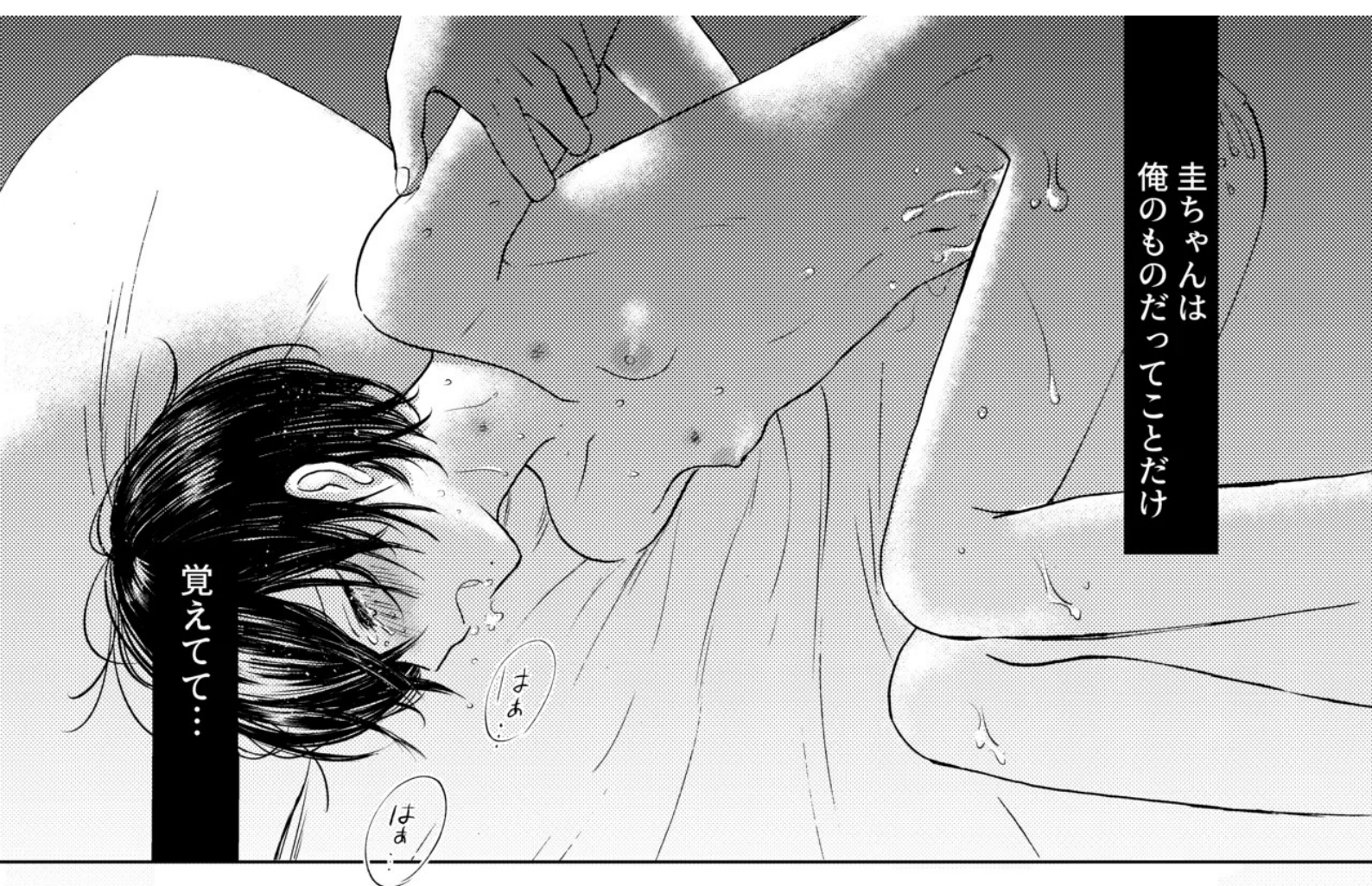
KOYAGI NANAHARA

ADULT ONLY



覚えてなくてもいいよ





一年前







男でもいい！



いや
こんなに可愛ければ

いた……

ハア……

ハア……

ハア……



楠田君
こんにちは！
ココ座って
いいかな？



いつも
ここで食べてるの？
良かったら俺も
今度から……



結構な有名人らしい

この容姿で男だっというから



一年の
楠田圭くん……

おい……



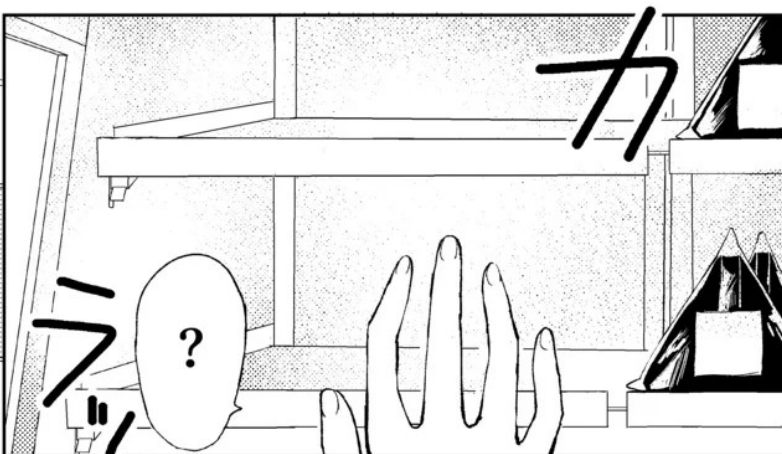
こッ



もつと

知りたい…
あの子のこと

こんな気持ちに
なることは
きつともう
一生ない





昨日
会って話した
よな……？

そんな
まさか
俺のこと……

覚えて
ないのか？

頼む！

一緒に
食べてくれ！！

!?







誰でもいい





じゃあ
じゃあ…



ごちそうさま

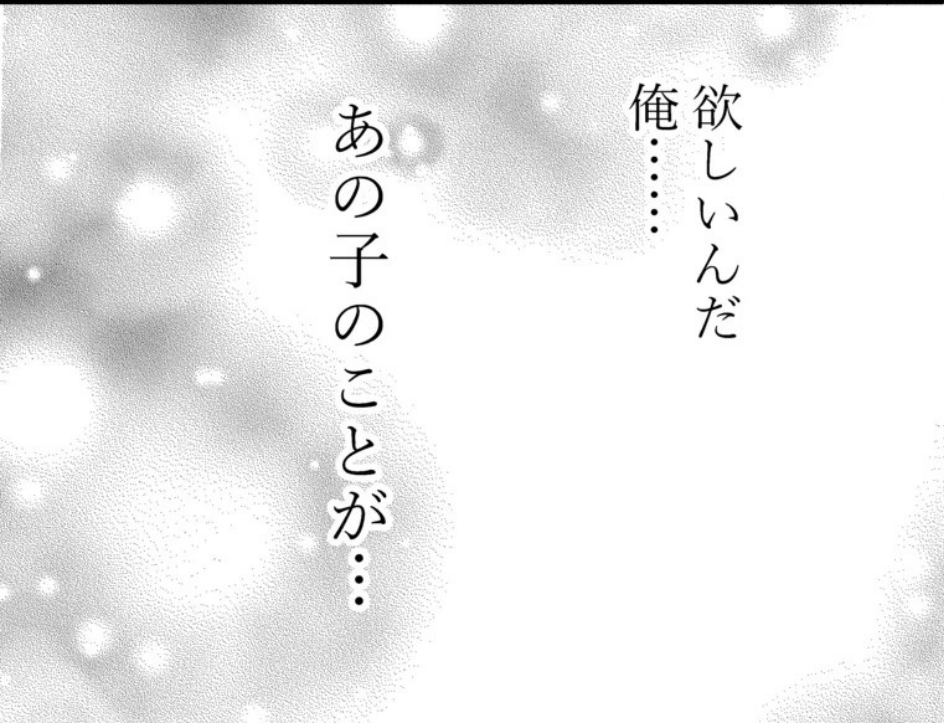




なんだよ
この苦しいの



初めて
他人のことを知りたいと思った



欲しいんだ
俺……

あの子のことが……



なんだ今の……!

いい匂いだった

クソッ
心臓がうるさい







侵入し放題
じゃないか…?



しかも一階…?
セキュリティは…?

オートロックは…?
防犯カメラは…?



ここが
まちゃんのマ
アパート…?

アパート



ワッ
なんだ今の

夢…?



照明消えてるし
寝てるかな

確認を…

ちょっと
覗くだけ…



2時か



ちゃんと帰って
きたのかな…

しまった…
寝てたせいで
確認できなかった



うおっ
久しぶりだな
太陽

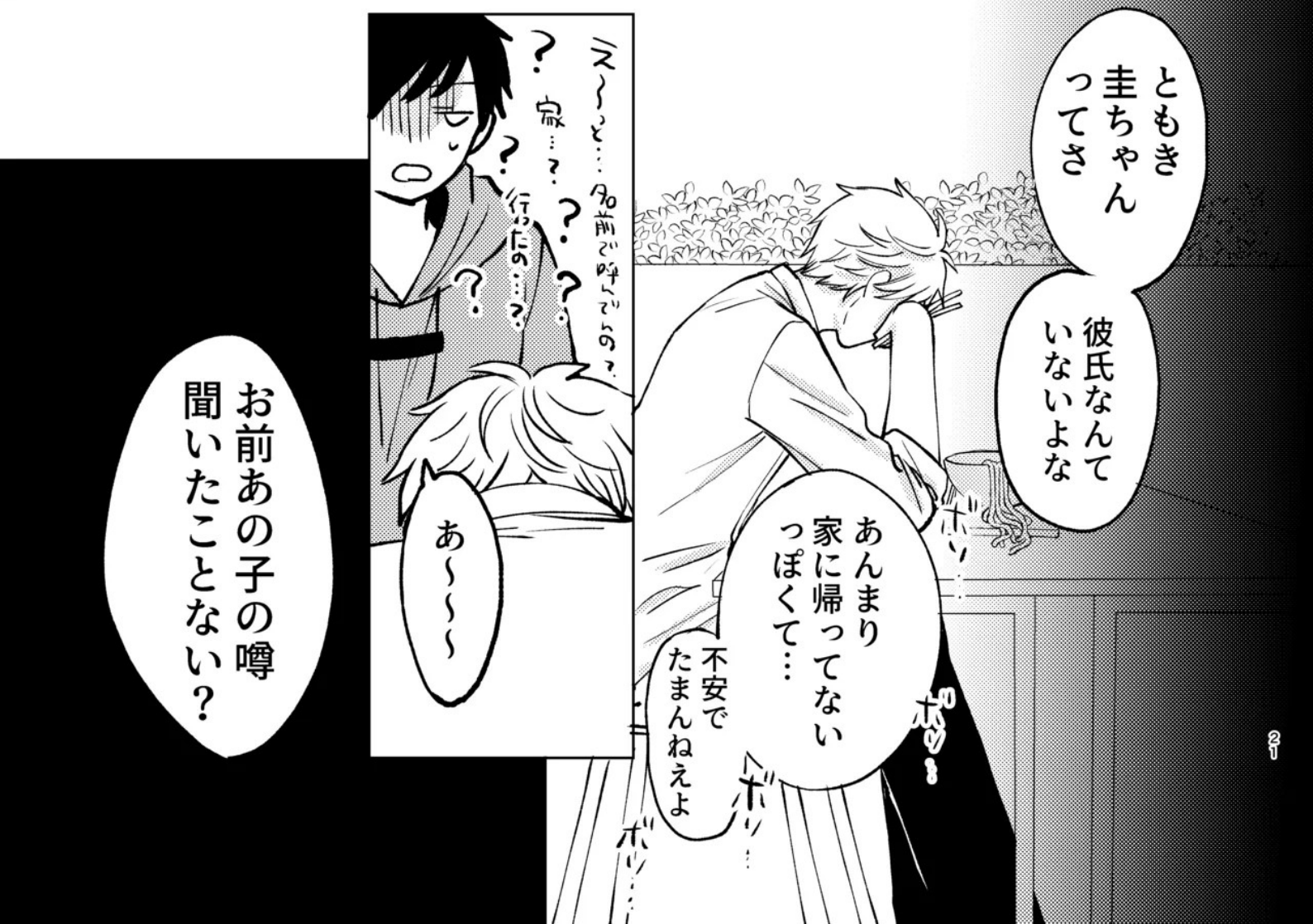
お前ゼミにも
顔出さずに
何し…

っておい…
ブハッ

なんだ!
どうしたその顔ッ!

お前顔しか
取りえないのに!
ブハハハッ!

うんざり



ともき
圭ちゃん
ってさ

彼氏なんて
いないよな

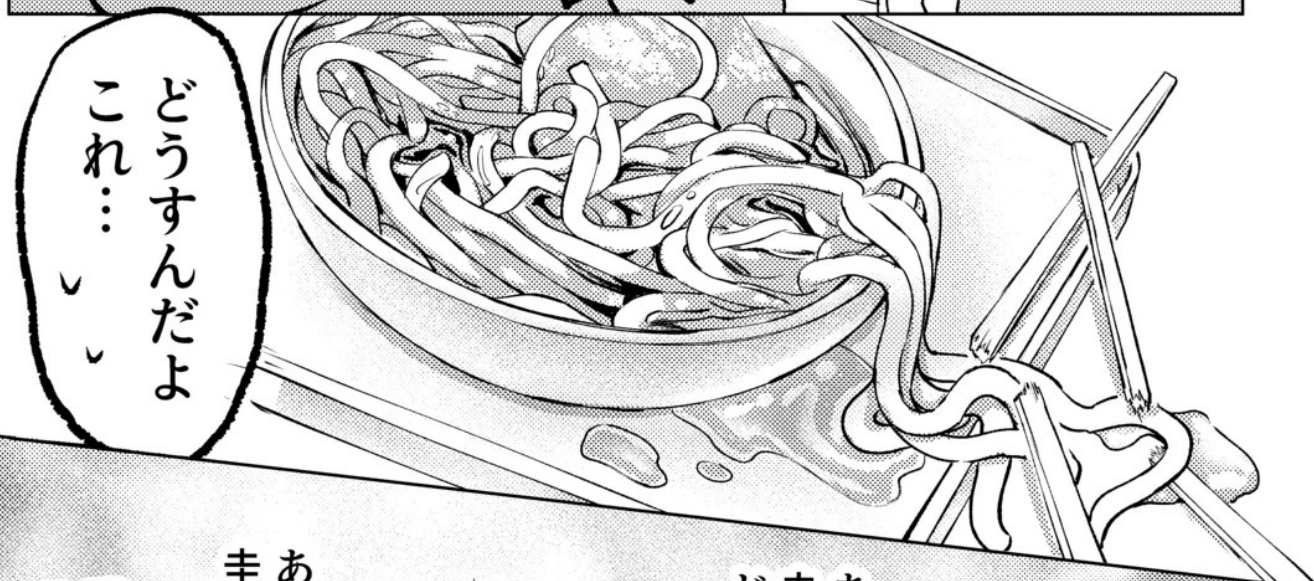
あんまり
家に帰ってない
っぽくて…

不安で
たまんねえよ

あ~~~~

お前あの子の噂
聞いたことない?





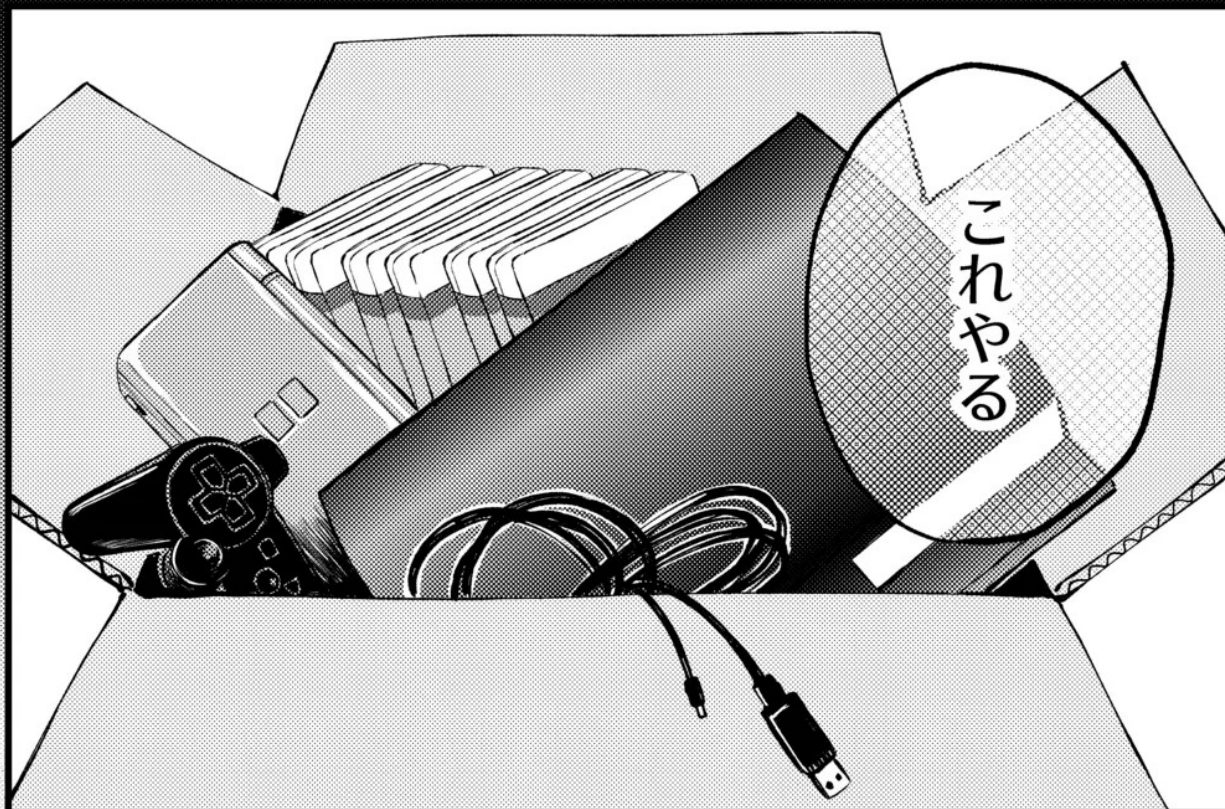
あいつ何言ってるんだろう
圭ちゃんはセックスなんて
したことないでしょ
だって潔癖そうだし
あんなウワサ
圭ちゃんが可愛いことを僻んだ
どっかの女が流したデマだろ

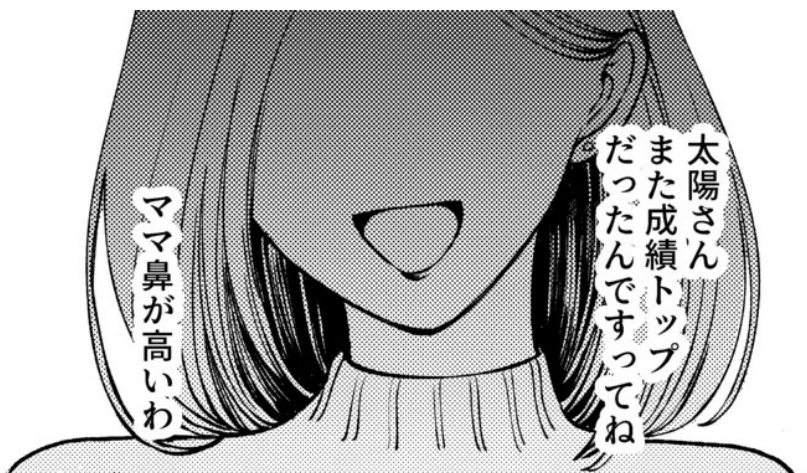
あの夜覗いた部屋に
圭ちゃんがいなかったのも
誰かと会ってたとか
そんなわけないだろ











いいんだよ
またすぐ
送られてくるし

子供の頃
何を与えられても

感情が動かなかった

大人になって
自力で手に入れたモノにも
夢中になれない

自分が何を求めているかも
わからない

むなしい

家は裕福だし 女にはモテるし
勉強も苦勞したことがない

何でも持っているのに 何か足りない

何かを求めているのに

何が欲しいのかわからない

俺には何が足りない？
なぜこんなに満たされない？

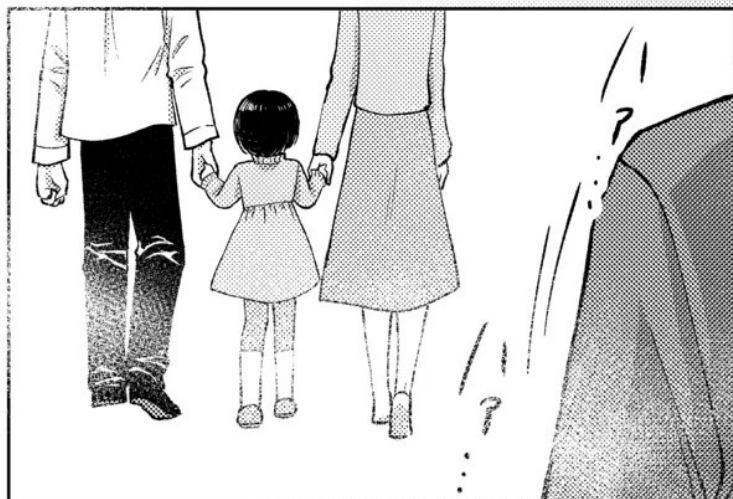
ママー
ハイハイ

フフ...

ハハハ...

.....
!?

キャッ



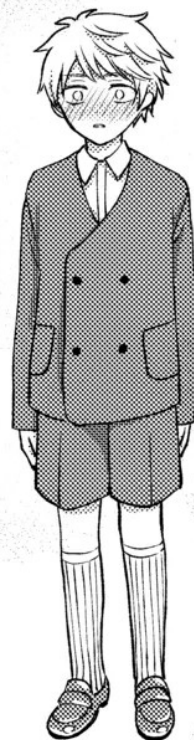
俺が本当に
欲しかったものは…
これ…？

違う

俺がずっと
求めていたのは

君だ

君なんだよ







両親はとうの昔に離婚して

今は一人で暮らしてるんだよね…



俺が絶対を守るからね

何…あれ…



でも安心してね……

君がこんな場所で一人暮らしなんて心配だ



ねえ圭ちゃん



!?

俺じゃないときは絶対に
ドア開けちゃだめだよ

俺じゃないか
押し入られて

何されるか
わからないよ

圭ちゃん
不用心すぎるよ

心配だよ……





もう少しで
迎えにいくよ





ごめんね…!

ハアッ

ハアッ

ハアッ

伝えたいことがあるんだ!

そのツ…

楠田くん…!!

好きなんだ!!

俺と
付き合っ
てほ
しいっ!

俺ね

圭ちゃんの好きな
男のタイプも
知ってるよ







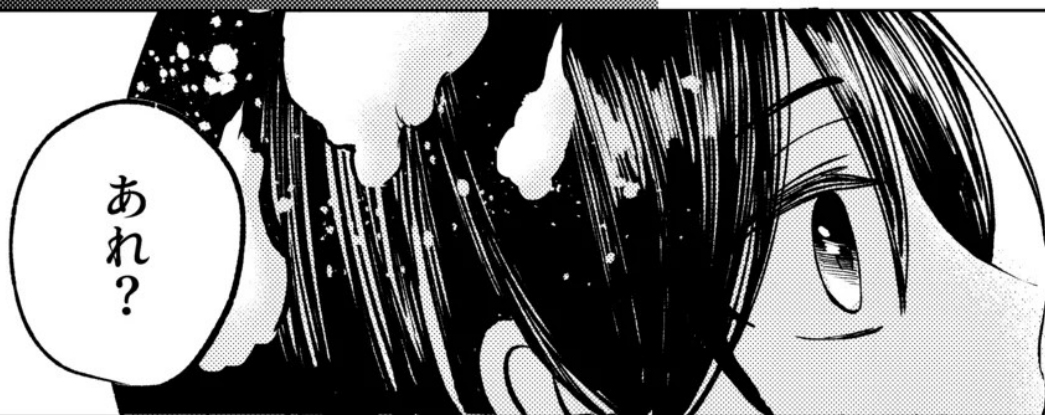
犬みたいで

犬!?

それって…
まさか…

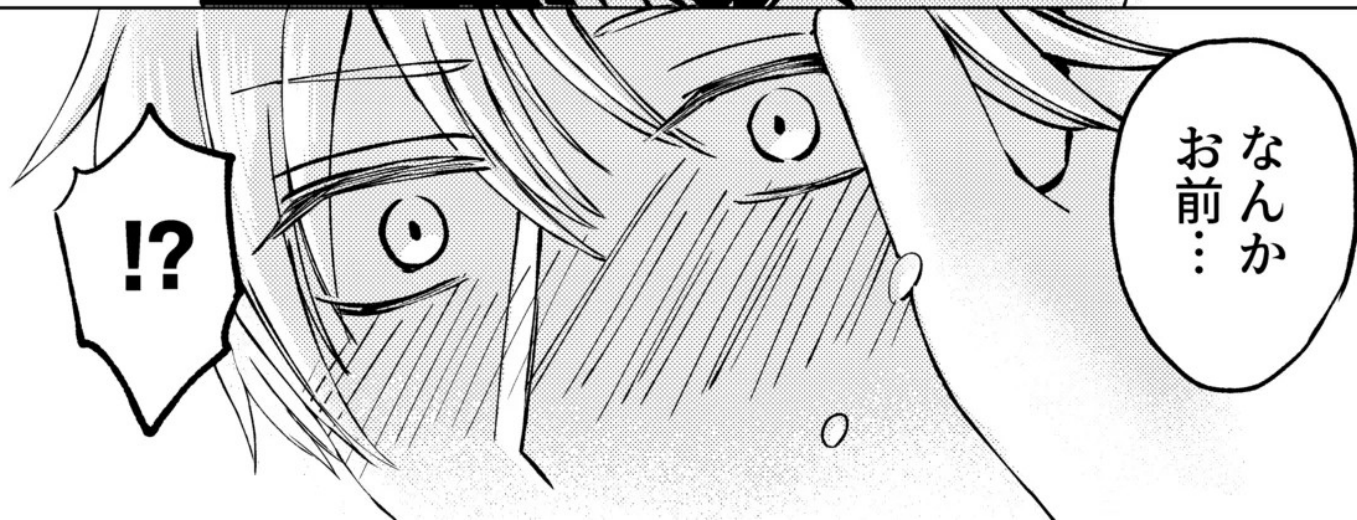
サンドイッチを
バクバク食べてて
可愛かったな

強引にお昼に
誘ってきた人…



あれ?

……



!?

なんか
お前:



圭ちゃんが俺のものであることに
変わりはないから

あとでまた
縛ってもいい？

まさか自分に
嫉妬すること
になるとは…

なんで
だよ

END